

平成26年度事業評価点

	事業計画	事業概要	自己評価点	評価平均点	
1. 展示	①常設展示	リニューアル計画の検討	アンケートなどにより市民ニーズを調べ、リニューアル構想、参加型展示、バリアフリー展示を検討していく。	3	3
		展示の更新	調査結果を展示に反映させるほか、館蔵資料を積極的に活用したわかりやすい展示替えを行う。	3	3.1
		展示解説	定期的、要望に応じて展示解説を行う。	4	3.8
	②企画展示	企画展中期計画の立案	企画展の中期（5年）の展示計画を立案する。	4	3.8
		企画展の開催	春季特別展『近代趣味人の美意識 第11代西尾與右衛門の世界』 4月26日～6月1日	4	4
			企画展示『さわって楽しむはくぶつかん inすいた』 6月14日～7月6日	4	3.9
			夏季展示『紫金山と釈迦ヶ池—まもる自然・つくる環境—』 7月19日～8月24日	4	3.8
			博物館実習展「すいはくDE実習展 収藏品×大学生∞【無限大】」 9月7日～9月21日	3	3.4
			秋季特別展『一片の瓦から—東アジアにふれる—』 10月4日～11月30日	4	3.8
			特別企画「むかしのくらしと学校」 12月9日～4月5日	4	4.1
			春季特別展プレ展示『西村公朝写真展』 3月14日～4月22日	3	3.4
			27年度実施特別展示の準備	4	4
			出張展示	博物館外へ出向き、積極的に展示を実施する。	3
		市民参画展示の実施とシステム検討	市民参画展示の実施とシステムを検討する。	2	2.3
各種の連携展示を実施する	各種の連携展示を実施する	4	3.8		
2. 市民参画	①市民ニーズの把握	アンケートの調査・集計 来館者調査	アンケートの継続実施と分析を行い、展示、教育普及計画を検討する。 来館者の実態を調査する。	3	3.1
		意見交換会の開催	意見交換会を実施する。	3	2.9
	②市民との協働・連携事業	市民キュレーター制度	市民キュレーター制度を検討していく。	2	2.3
		市民・市民団体・NPO等の教育普及活動への参画	春季特別展、夏季展示、秋季特別展、特別企画での教育普及活動に参画する。	4	4
			博物館トーク、講座の講師への参画		
市民の協議会委員	市民が協議会委員として館の運営に継続して参画する。	3	3.2		

	③ボランティア	特別企画への参入	継続して特別企画の展示企画、運営に参入してもらう。	4	3.8
		多様なボランティアの育成	多様なボランティア組織を育成する。	4	4
		ボランティア研修制度	ボランティア養成の研修プログラムを検討していく。	3	3.2
		ミュージアムエデュケーター制度	ミュージアムエデュケーター制度を検討する。	3	2.8
3. 地域学習の拠点	①地域学習の支援	子ども、若年層のイベント	ゴールデンウィークや夏休み期間開催の夏季展示に子ども向けイベントを実施する。	3	3.4
		アンケートの調査・集計	アンケートの継続実施と分析を行い、教育普及計画を検討する。	3	3
		博物館利用講座・バックヤードツアー	バックヤードツアーを継続的に実施する。	3	3
		出前講座・依頼講座	継続して出前講座・依頼講座に講師を派遣する。	4	4
		レファレンス業務	レファレンスサービスをわかりやすく表示する。 レファレンスサービスを継続する。	3	3
		特別利用	継続して実施する。	3	3.1
	②地域文化の情報拠点	他の施設・団体との連携	北大阪ミュージアムネットワーク事業を継続実施する。 歴史街道推進協議会による西国街道連携事業を実施する。	4	3.8
4. 情報発信	①ホームページの充実	ホームページのコンテンツの整理・拡充	情報を適切に更新する。	4	3.8
			豊富な情報を得る新たなコンテンツやアーカイブ機能を追加するなど使いやすいシステムへと変更する。	4	3.8
	②広報活動	博物館だよりの発行	継続して刊行する。執筆者の幅を広げ、さまざまな事業の紹介などにも活用する。	4	3.7
		広報活動の見直し	アンケートデータや事業内容などから広報活動に柔軟性をもたす。	3	3.2
		メディアへの情報提供	継続して情報提供をはたらきかける。	4	3.8
		年度当初の行事の公開	年間行事予定を公表する。	4	3.8
	③資料の公開	資料データベース	資料データベースの公開に向けてシステムを研究していく。	3	3.1
		蔵書データの公開、閲覧、複写	蔵書データベースをホームページに公開し、閲覧複写サービスを整備する。	3	2.8
	④博物館活動の公開	研究成果の公開	調査研究成果を館報・たよりなどの刊行物に公表する。	3	3.2
		事業報告・評価の公開	博物館の活動記録、自己点検、事業評価をホームページ、館報に公開していく。公開する。	4	4

5. 学校教育との連携	①利用の促進	特別企画「むかしのくらしと学校」の実施	小学校3年生社会科向け展示特別企画「むかしのくらしと学校」を継続開催し、あわせて学校見学の説明会や反省会をあわせて実施する。	4	4.1
		教員との研究会	小中高校教員との博物館利用に関する研究会を立ち上げる。(教員手引き・教材開発・学習プログラム等)	4	3.9
		小学校6年生社会科の博物館利用	小学校6年生社会科の博物館利用について検討していく。	3	3.2
		バックヤード見学の実施	子どもに博物館の役割を知り、親しみをもってもらうため、バックヤード見学を実施する。	3	3.2
		小中高へのプログラム検討	小中高と各段階に応じた学習プログラムを検討する。	3	3.4
5. 学校教育との連携	②学校教育への支援	出前授業	小学校3年生へのむかしのくらしに関して出前授業を継続して実施する。出前授業の教材を開発する。	4	4.2
		職場体験のプログラムを精査	職場体験のプログラムを精査する。	3	3.2
6. 資料の収集と保管	①資料の収集	資料収集方針の検討	地域性を示すコレクション形成のための資料収集方針を検討、収集する。	3	3
		市民への資料寄贈・寄託の呼びかけ	特別展のテーマに関連した資料の寄贈・寄託を市民へ呼びかける。	3	2.8
		古写真、フィルムの収集	地域に残された古写真、フィルムを収集する。	2	2.2
		旧中西家・西尾家資料の収集	旧中西家・西尾家住宅と連携し、資料収集を行う。	3	3.4
	②収蔵庫	収蔵庫拡幅を検討する	西村公朝資料の収蔵も視野に入れ、新たな資料収集に対応する収蔵庫の拡幅を検討する。あわせて器具倉庫の設置を検討する。	2	2.3
		収蔵庫の環境維持管理	収蔵庫の環境を良好に維持管理する。薬剤を使用せず環境法に基づくモニター調査を行う。	5	4.6
		資料のくん蒸	新規収集資料をくん蒸庫にてくん蒸処理する。	4	4.2
	③登録・整理	資料の整理・登録	未登録、新規収蔵資料の整理、台帳登録を進める。	3	2.9
		資料記録のデジタル化	引き続き資料のデジタル化を進める。	3	2.7
		図書の整理、デジタル登録	引き続き収蔵図書のデータベース化を行い、公開する。	3	3.2
		古写真の整理・デジタル管理	古写真のデータを整理してデジタル管理を進める。	3	2.8
	④管理・修復	資料の修復	展示計画にそった資料の修復を行う。	2	2.4

7. 調査研究	①館独自の自主研究事業	調査研究事業の展開	調査研究成果を館の事業に反映させる。 (公開展示事業・教材・展示手法の開発)	3	3.2
		調査研究	市域関連資料や企画展開催に向けた調査研究を実施する。	3	3.2
		研究成果の発表	調査研究成果を歴史講座、トーク等の口頭発表や館報・たよりなどの刊行物に公表する。	3	3.4
	②共同研究事業	外部機関との共同調査・事業	北大阪ミュージアムネットワークでの共同調査を実施する。 連携展示を実施する。	3	3
8. 施設の整備・維持管理	①施設の維持・管理	展示機器の定期点検	展示機器の定期点検を継続実施する。	4	4
		機械室の設備更新	順次更新していく。	3	3.2
	②アクセス	名神高速道路吹田サービスエリアからのアクセスロード	引続き名神高速道路吹田サービスエリアからのアクセスを可能にするよう西日本道路株式会社と協議検討する。	2	2
	③ビジターセンター	紫金山公園ビジターセンターの建設	紫金山公園ビジターセンターの建設を検討する。	2	2
9. 社会貢献	①人材育成	博物館実習	継続して学芸員養成課程の博物館実習生の受け入れを行い、展示実習の成果を公開する。	4	3.9
		JICA研修	継続してJICA研修を受け入れ実施する。	5	4.5
		インターンシップ	インターンシップの受け入れプログラムを検討する。	3	3.3
	②講師派遣	大学非常勤講師	継続して大学非常勤講師を派遣する。	3	3.2
		講座・講演会講師	継続して講座・講演会に講師を派遣する。	4	4
	③学会、研究会等への支援	学会、研究会への支援	学会、研究会へ会場提供などの支援を行う。	4	3.8